

「共に感じよう 自然に学ぶ子どもの育ち」

○発表者名 社福) あすなろ会 白兔保育園 副主任保育士 松浦美保子

1. 問題提起

白兔保育園は、平成29年に「とっとり自然保育認証園」に認定され、地域の恵まれた自然環境を活かしながら、自然と関わる「直接体験」を大切にして保育に取り組んできた。経験の積み重ねから、子どもたちの自然に対する興味は高まってきており、季節の変化に敏感に反応したり、花、虫などに触れることを喜んだりするなど、積極的に自然に関わろうとする意欲が育ってきている。

このような子どもたちの育ちを保護者と共有していきたいのだが、新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の園内への出入りや行事への参加が減り、保育士と保護者の対話が少なくなっている。以前は、その日の子どもの姿や活動の様子など、連絡ノートの記入に加え、送迎時の対話を通して丁寧に伝えていくことを配慮してきた。しかし、密を防ぐため、長時間のやりとりを控えなくてはならない現在、結果として、子どもの姿や園での取り組みの様子が保護者に伝わりにくくなっている。このコロナ禍で園と保護者の繋がりを深めていくためには、どのような工夫ができるのか検討し、実施していく必要があると感じた。そして、本園が大切にしている自然保育を通して、子どもたちにどのような学びや育ちがあるのか保護者と一緒に感じ、成長を喜び合いたいと考え、研究に取り組むことにした。

2. 目的

まず、子どもたちの興味・関心を捉えた自然体験活動を計画し、「なぜ?」「どうして?」と不思議に思う気持ちや好奇心を受け止め、環境を整えていくこととした。探求心をくすぐったり、試行錯誤したりしながら遊びきる姿を引き出していきたいと考えた。

そして、感染症対策を行っていく中で、保育園での子どもたちの様子や成長、保育士の思いなど、分かりやすく保護者に伝わる方法を検討し、保護者と共有しながら、園と家庭が一緒になって子どもの成長を促していくことを目的とした。

3. 方法

本園は、自然体験活動の充実を図るため、年齢ごとに「自然体験活動年間計画」を作成している。この年間計画を、現在の子どもの姿に合わせて見直しを行い、子どもの発達や興味・関心に合った活動を再計画していった。そして、安全管理マニュアルを考慮しながら海岸へとフィールドを広げていくことも計画に取り入れ、遊びの充実を図った。また、保育の質の向上を目指すため、Web研修などを受け、繰り返し遊び込んでいけるような環境構成や保育士の援助についても学んでいった。

令和3年度 自然体験活動年間計画

保育指針：心身ともに健康で情緒の安定する環境を整え「生きる力」を育む

テーマ：身近な環境に親しみ五感を通して子どもの主体性を育む保育 ～共に感じよう 自然に学ぶ子どもの育ち～

保育目標
 ・しやがや心。人を大切にする子ども
 ・しようぶなからだ。積極果敢を持った子ども
 ・船橋までやり遂げる子ども

月	保育目標		保育指針	
	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児
1	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ
2	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ
3	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ
4	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ
5	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウゴム草で遊ぶ(はまなす・あじさい公園) ②木の葉をみる。触れる ③花を摘み取る(たらい・シート・傘を持って) ④たらいに(季節の)色や葉を浮かべて遊ぶ

※ねらい・自己評価については保育年間計画に記載

振り返りとして、どのような活動を実施し、子どもたちにとってどのような学びがあったのか、定期的にドキュメンテーションを作成して園内研修で話し合いを行った。ドキュメンテーションとは、子どもの活動を写真や文字などで視覚的に記録したもののことである。目で見えることは写真に語らせ、見えにくいエピソードや読み取った子どもの育ちを文章に書いて作成していく。これが保育ドキュメンテーションである。各クラスの子どもたちの様子を、このドキュメンテーションを使いながら職員間で話し合い、共有し、子どもも理解を深めたり、援助の仕方、環境構成などをいろいろな視点で見直したりしていった。

ドキュメンテーションに関しても、大豆生田啓友氏によるオンラインセミナーを受け、ドキュメンテーションの意義や作成にあたって大切な視点などを学んでいった。このセミナーでの学びを基に、自然体験活動を通して保育士が何をねらい、どのような関わりをしているのか、また、子どもがどのような思いを持って活動し、どのような学びがあるのかを具体的に表記することに気をつけ、作成するようにしていった。

「ドキュメンテーションの作り方」

写真撮影や選び方のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ①子どもが何か面白がっていたり、熱中したりしている瞬間 ②子どもが試行錯誤したり、困難を乗り越えようとしていたりしている様子 ③その子のよさが発揮されているシーン
コメントを書くポイント
<ul style="list-style-type: none"> ①子どもの実際の姿を具体的に言葉にして書く ②子どもの気持ちや育ちを読み取って書く <p>子どもが何に心を動かしているのか。どのような経験や育ちがあるのか。</p>

参照：Benesse. 「ホイクテラス：ドキュメンテーションのメリット・書き方・活用法！」
<https://hoiku.benesse.ne.jp/>

こうして作成したドキュメンテーションを玄関に掲示したり、遊びの様子をスライドショーで放映したりすることで、送迎時に保護者の目に触れるようにした。また、定期的に発行するクラス便りにもドキュメンテーションを載せ、なかなか送迎に来られない保護者にも園の様子が伝わるよう工夫していった。年に2回、保護者が自然体験活動に対してどのような意識を持っているのか、アンケート調査も行った。



< 3歳児 ドキュメンテーション >

< 1歳児 クラスだより >

4. 成果・課題

1) 成果

この取り組みを通して子どもたちの姿や保護者の意識がどう変容したか、2つの事例を通して考察した。

1つ目は、5歳児クラスでの海岸遊びについての事例である。伏野海岸へ初めて遊びに行った日は、潮の匂いを感じたり、波の迫力ある音に興奮したり、砂浜の砂が園庭の砂場の砂と感触が違うことに気付いたり、様々なことを感じながら遊ぶ姿が見られた。2回、3回と繰り返し海岸へ出かけて遊んでいくうち、天候によって砂の温かさや波の高さが違うこと、雨が降ると折角作った大きな砂山も消えてしまうことなど、継続して取り組んだからこそその気付きがあった。また、バケツで水を汲むには少し波が荒かった日、どうしたら目的の場所まで水を運べるのか考えた子どもたちは、溝を作って海水を流すことを思いついた。人手が必要だと感じると、他の友だちにも声をかけ、みんなで協力してやり遂げることができた。この活動についてドキュメンテーションを使いながら職員間で振り返りを行った。子どもたちの自然に対する関心が深まっている様子、自分の思いを言葉で伝え合う力や一つの目標に向かって友だちと協力する力が身に付きつつあることなど、5歳児クラスの子どもの成長を園全体で共有することができた。また、保育士が遊びを主導するのではなく、見守りと共感に徹したことで、子どもたちの自ら考えて遊ぶ姿を引き出すことができたのではないかという意見も出た。ドキュメンテーションを使って検討していくことで、他クラスの保育士も、その活動の様子のイメージが湧きやすく、子どもの姿、環境構成、保育士の援助の仕方など、様々な視点で読み取っていくことができたように思う。



次は、4歳児クラスでの色水作りについての事例である。絵本の影響により、朝顔で作った色水で、紙を染めたり、絵を描いたりできることに興味を持ち、挑戦した。最初は作った色水が薄く、紙を染めることができなかった。保育士と一緒に「どうしたら成功するのだろうか」と考えていくうち、色水の色が薄いことに気づき、水の量を調節して再挑戦し始めた。興味の高まりから、思わぬ結果になってしまっても諦めず、何が原因で失敗したのか、次はどうしたら成功するのか、保育士や友だちと一緒に考え、次に繋げようとする力が身についてきたように感じた。また、素材を豊富に準備することで、何度でも試すことができ、失敗を恐れず安心して試行錯誤しながら遊ぶことができたのではないかと思う。この活動についてもドキュメンテーションを作成し、保護者に伝えた。すると、園で使用した色水作りの道具を家庭でも用意し、親子で一緒に楽しんだという報告が複数あった。「上の子どもたちとはこんな遊びをしなかったから、今回、こんな風に遊びを知らせてくれて有難い。」と言って下さる家庭もあり、ドキュメンテーションによる伝達の効果を改めて感じた。



～ この夏(6・7・8月)のすみれ組の子どもたちの様子 ～

「夏ならではの遊びに積極的に取り組み、保育者や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう」というねらいを持って、様々な経験を重ねてきました。夏の自然物に触れながら、自分の思いを友だちに伝えたり、友だちの遊びに興味を持って真似をしようとしていたりする姿が見られました。2～3人の小集団になって遊びを楽しむ姿が増えてきて、成長を感じます。

朝顔を使って色水作り → 染め紙



本を読んでいて、みんなで育てた朝顔で色水が作れること、その色水を使って染め紙ができることを知った子どもたち。「僕たちが育てた朝顔だ!」「面白そう!」「やってみたい!」と興味津々。早速、挑戦してみることにしました。



染め紙に挑戦! ...だけど、失敗

あれ～? 色がつかないなあ
【疑問】【不発露】



たくさん作るぞ!
【意欲】



こぼれないようにそっと、そっと...
【集中力】

なぜ色がつかないのか、もう一度本を見ながら、みんなで考えてみました。すると、本に載っている色水は濃いけど、自分たちが作った色水は薄いということに気付いた子が...!! 水を少なめにして、もう一度色水を作ってみることにしました。



いっぱい混ぜたら色が出たよ!
【気づき】



やったー! できた!
【達成感】【満足感】



再挑戦!



今度は水の量を減らして作ってみよう!
【思考力】



ごぼれそう! 持ってあげるよ。
【協力】



ありがとうございます



今度は濃い色の色水ができたね
【比較】【達成感】

年に2回行ったアンケート調査でも、保護者の意識の変容を把握することができた。まず、“園は自然体験活動を取り入れて保育をしているか?”という質問に対して、「とても思う」と回答した家庭が4

6%から61%へ上がった。日頃の保育の様子を発信し続けたことで、園での取り組みを評価してもらえたのではないかと。次に、家庭での自然体験活動についての質問にも注目した。「家族と一緒に自然体験活動に取り組んでいる」と回答した家庭が、前半の調査は32%でしたが、後半は53%と大幅に上がり、「取り組みたいが時間的に余裕がない」と回答した家庭が50%から41%へと減少した。親子の触れ合いの方法として自然体験活動を取り入れている家庭が増えており、その内容も、向山登山、海岸遊び、色水作り、自然物を使った製作など、園での活動がきっかけになっていることが分かった。ドキュメンテーションの掲示や写真のスライドショー等を行うことによって、子どもたちの遊びの過程、学びの様子、保育士の思いなどが可視化され、保護者にとって口頭や文章のみの伝達よりイメージしやすかったのではないかと。また、ドキュメンテーションを玄関に掲示することで、他の学年の保護者にも見てもらう機会になり、そのクラスだけでなく園全体の保護者と共有することができたことも分かった。年齢の小さい子どもの保護者にとっては、今後どのような成長が見られるのか、見通しを持つきっかけになったのではないだろうか。

「自然体験活動」に関するアンケート調査について

様状の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご多難のこととお慶び申し上げます。さて、今年度の保育のテーマ「身近な環境に親しみ五感を通して子どもの主体性を育む保育 一緒に感じよう 自然に学ぶ子どもの育ち」に取り組むにあたり、子どもたちの姿や保護者の皆様のご意見など、今年度後期もより深く捉えていくため、アンケートを実施したいと思っております。お忙しい折とは思いますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1. お子様のクラスに○を付けて下さい。
(兄弟がおられる場合は全てに○をお願いします。)
ひまわり組・すみれ組・たんぽぽ組・もも組・ちゅうりっぷ組・つくし組

2. 当園が鳥取県の「とっとり自然保育認証」を受けているをご存知ですか？
○はい ○いいえ

3. 当園は、自然体験活動を取り入れて保育を行っていると思いませんか？
○とても思う ○まあ思う ○あまり思わない ○全く思わない

4. 園で取り組んでいる自然体験活動でご存じの活動をご記入下さい。
(例 海岸遊び、色水作りなど)

5. 園で取り組んでいる自然体験活動の様子について、一番分かりやすいものはどれですか？**エスQを付けて下さい。**
○保育者とのやりとり ○連絡ノート ○ドキュメンテーション(1)
○お子様とのやりとり ○写真のスライド ○クラス便り、園便り
○あすなろ会のツイッター ○その他 ()

※注1：ドキュメンテーションとは”子どもたちのつぼみや行動、活動内容を写真やコメント等で記録したものを指します。”

6. お子様が進んでいくにあたり、身につけて欲しい力はありますか？
当てはまると思われるものに**エスQを付けて下さい。**
○体力の向上 ○意欲、挑戦力 ○探求心、思考力 ○集中力
○忍耐力 ○満足感、達成感 ○ルールを守る ○豊富な知識
○発想力 ○伝える力、コミュニケーション力 ○主体性
○その他 ()

7. お子様は自然体験活動を通して学んでいること、身につけてきたこととして、最も当てはまると思われるものに**エスQを付けて下さい。**
○体力の向上 ○意欲、挑戦力 ○探求心、思考力 ○集中力
○忍耐力 ○満足感、達成感 ○ルールを守る ○豊富な知識
○発想力 ○伝える力、コミュニケーション力 ○主体性
○その他 ()

8. 園での自然体験活動について感じるものに○を付けて下さい。
○現状で満足している。
○もっとたくさん取り入れて欲しい。
○できれば返らして欲しい。
理由()
○取り入れて欲しくない。
理由()

9. 家庭での自然体験活動について感じるものに○を付けて下さい。
○家族と一緒に自然体験活動に取り組んでいる。
○家庭でも取り組みたいが、時間的に余裕がない。
○家庭でも取り組みたいが、衛生面が気になり抵抗がある。
○家庭でも取り組みたいが、安全面が気になり抵抗がある。
○園での経験のみで十分だと思う。
○その他 ()

10. 園で取り組んでいる自然体験活動で、ご家庭でも取り組んでみられた活動、または取り組んでみたい活動がありましたら、ご記入下さい。
()

*ご協力ありがとうございました。
玄関にアンケート回収箱を設置しておりますので、**11月9日(月)**までにご提出ください。
提出の際は、名簿に○をご記入ください。

「自然体験活動」に関するアンケート調査 (2021年6月・11月の2回 実施)

「自然体験活動」に関するアンケート調査の結果について

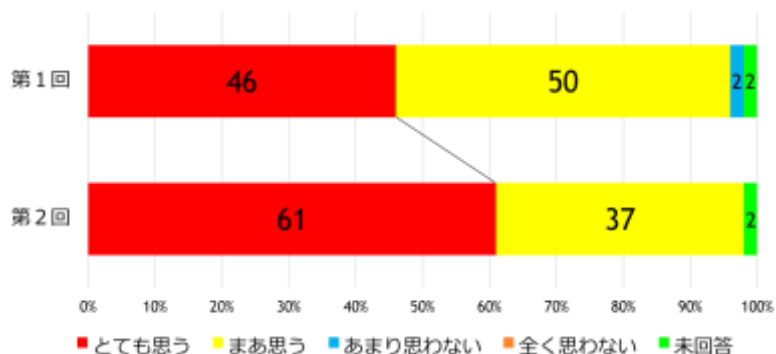
	第1回	第2回
回収	96%	91%
未回収	4%	9%

2. 白兔保育園が鳥取県の「とっとり自然保育認証」を受けたことをご存知ですか？

	第1回	第2回
①はい	54%	90%
②いいえ	44%	10%
未回答	2%	0%

3. 当園は、自然体験活動を取り入れて保育を行なっていると思いますか？

	第1回	第2回
①とても思う	46%	61%
②まあ思う	50%	37%
③あまり思わない	2%	0%
④全く思わない	0%	0%
未回答	2%	2%



4. 園で取り組んでいる自然体験活動をご存知の活動をご記入ください。

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・あじさい公園、はまなす広場など近隣の公園遊び、散歩 ・さつまいもの苗植え、収穫、焼き芋 ・虫探し、ネイチャーゲーム ・自然物を使った遊び(色水作りなど)や製作 | <ul style="list-style-type: none"> ・海岸遊び、砂浜清掃 ・夏野菜の水やり、収穫 ・水遊び、砂遊び ・どんぐりなど木の実拾いや落ち葉拾い | <ul style="list-style-type: none"> ・向山登山 ・園庭の芝 ・雨降り散歩 |
|---|---|--|

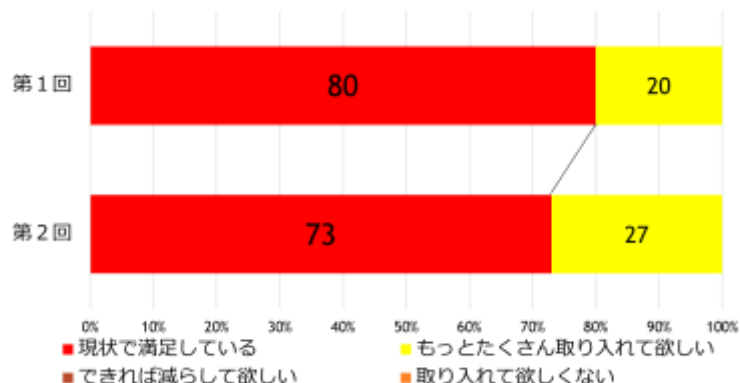
5. 園で取り組んでいる自然体験活動の様子について。一番分かりやすいものはどれですか？

	第1回	第2回
①保育者とのやりとり	2%	4%
②連絡ノート	6%	8%
③ドキュメンテーション	22%	22%
④お子様とのやりとり	6%	0%
⑤写真のスライド	32%	39%
⑥クラス便り・園だより	26%	27%
⑦あすなる会のツイッター	2%	0%
⑧その他・未回答	4%	0%

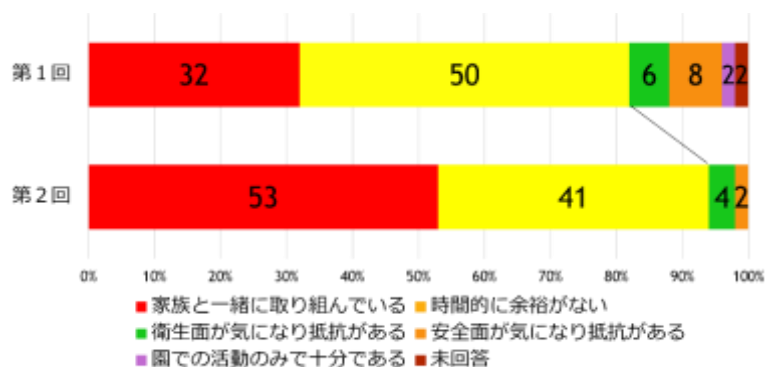
6. お子様成長していくにあたり、身につけて欲しい力は何か？(3つ選択)		
	第1回	第2回
①体力向上	6%	7%
②意欲、挑戦力	17%	22%
③探求心、思考力	15%	14%
④集中力	7%	7%
⑤忍耐力	6%	5%
⑥満足感、達成感	9%	9%
⑦ルールを守る	13%	10%
⑧豊富な知識	1%	2%
⑨発想力	4%	3%
⑩伝える力、コミュニケーション力	16%	17%
⑪主体性	6%	5%
⑫その他	1%	0%

7. お子様自然体験活動を通して学ぶこと、身につくこととして当てはまるものは何か？(3つ選択)		
	第1回	第2回
①体力向上	17%	18%
②意欲、挑戦力	16%	16%
③探求心、思考力	22%	24%
④集中力	1%	3%
⑤忍耐力	2%	1%
⑥満足感、達成感	10%	10%
⑦ルールを守る	1%	2%
⑧豊富な知識	10%	9%
⑨発想力	12%	12%
⑩伝える力、コミュニケーション力	8%	4%
⑪主体性	1%	1%
⑫その他	0%	0%

8. 園での自然体験活動について感じるものは？		
	第1回	第2回
①現状で満足している	80%	73%
②もっとたくさん取り入れて欲しい	20%	27%
③できれば減らして欲しい	0%	0%
④取り入れて欲しくない	0%	0%



9. 家庭での自然体験活動について感じるものは？		
	第1回	第2回
①家族と一緒に取り組んでいる	32%	53%
②時間的に余裕がない	50%	41%
③衛生面が気になり抵抗がある	6%	4%
④安全面が気になり抵抗がある	8%	2%
⑤園での活動のみで十分である	2%	0%
未回答	2%	0%



10. 園で取り組んでいる自然体験活動で、ご家庭でも取り組んでみられた活動、または取り組んでみたい活動は？	
・海岸遊び、貝殻拾い (海での体験をもっと取り入れて欲しい)	・向山登山
・木の実拾い	・木の実を使った工作
・色水作り	・砂遊び

2) 課題

園での自然体験活動について、「もっと取り入れて欲しい」とアンケートで回答した家庭が20%から27%に増えていた。自然体験活動に対する保護者の関心が高まり、園への取り組みに対しても期待が大きくなっている結果ではないだろうか。引き続き、積極的に自然と関わる直接体験を取り入れ、子どもたちの成長を促していきたい。また、ドキュメンテーションを使った園内研修の充実を図り、様々な視点で子どもの姿を見取っていくことで、保育士の“子どもを理解する力”も養っていきたい。

ドキュメンテーションを掲示することは、遊びの様子や子どもの成長を保護者と共有しやすいことから、今後も取り入れていきたい。しかし、作成に時間がかかり掲示の頻度が多くはないことも事実である。より簡単に作成でき、かつ、保護者に伝わりやすい形式を検討し、現在より頻繁に発信できるよう改善していきたい。

コロナ禍での課題がきっかけとなり、この取り組みを通して、より伝わりやすい保護者への発信について考える機会となった。今後も、子どもたちの育ちを保護者と共に感じ、成長を喜び合える関係作りに努めていきたい。

参考文献

○大豆生田啓友・おおえだけいこ（2010）.「日本版保育ドキュメンテーションのすすめ」 小学館

○鳥取県教育委員会事務局小中学校課（平成28年3月）

「鳥取県「遊びきる子ども」を育む取組事例集 ～幼児教育・保育の充実をめざして～」